

1月9日掲載 読売新聞茨城版 「チャレンジしてみよう」の答えと解説

答え

(1) 5 (倍)

(2) 5 (本)

解説

(1) 底面積と高さが等しい角柱と角錐があるとき、角柱の体積は角錐の体積の3倍である。
図の直方体を平面AEGCで切ると、合同な2つの角柱ができるので、直方体の体積は立体Qの体積の $3 \times 2 = 6$ (倍) になる。よって、立体Pの体積は立体Qの体積の5倍である。

(2) 辺ACとねじれの位置にあるのは、辺DH, EF, FG, GH, EHの5本である。